



かえでゆうびん 2月号



2025年2月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

先日の「フェスティバル」ではめばえ・ふたばは通常保育をしながらの初めての開催となりました。ご協力ありがとうございました。つぼみ・幼児クラスはいかがでしたでしょうか？

行事を行うにあたっての「子どもにとって」を念頭に置きどのように披露するかを毎年職員とともに考え構成していきます。練習の姿はめばえ・ふたばも2階に上がりお兄さん・お姉さんのしている様子を見学しながら聞いたことのある音楽には自然と体でリズムをとっていました。今回はつぼみ以上のクラスで行うと企画しましたが、保育園としてはその日の出来具合を評価することではなく、その日を迎えるまでの日々の営みこそ、子どもの成長であると考えて進めてきました。友達とうたうこと一つとっても、ピアノから流れるメロディーに歌を合わせる・また、友達とともに歌うことは気づくと集団意識が育ちます。園で毎日歌っていることが楽しい時間に代わり、保育者の歌声から歌詞をしり、歌ってみる。この毎日繰り返される音楽に触れることで自然と歌詞が出てきて体も動かしたくなる…素敵な時間を過ごしてきました。

大人の考えでその日をフェスティバルと名付け、子どもたちは緊張の中おうちの方を探しながら舞台上に立ち披露する。これは幼児期での体験こそが意味があると考え、今回の2歳以上のフェスティバルとなりました。劇はしないの？物足りないわ・・・と感じることがあるかと思いますが、子どもたちが毎日生活していく中で見つけた歌や劇のセリフなどはとても素朴で自由です。かえでのこどもらしさがいっぱいの時間を子どもたちなりに披露できたのではないかとおもいます。また今年のご意見をもとにさらに進化していきたいと思えます。

お子様の「やる気スイッチ」は様々な場面で見られます。ふたばのお子様の一コマを紹介します。いつも通り保育者とともに園庭遊びを満喫し「お部屋で遊ぶ？」の声掛けによちよちと築山から降りてきてにこにこ広場にむかいます。冬場は乳児クラスは靴を履いての外遊びですので当然「靴を脱ぐ」ことから自分で行います。一人の園児さん、どしんと床に座り、じっと靴を見つめます。保育者に求めるのではなく自分で靴をぎゅ〜と引っ張り脱ぎます。次いで靴下・・・これはもっと引っ張らないと脱げません。ぎゅぎゅっと倍の力で引っ張りこけそうになりながら靴下を引っ張ります。スポッと脱げた瞬間周りを見回し保育者を探します。「○○ちゃん。脱げたね〜」の一言でにっこり。次に左右の靴の中に靴下を入れ、靴をトントンと揃え片手で持ち、「ヨイコラショ」と立ち上がり、我先に靴箱に・・・この何気ない行動ですが毎日の繰り返しの中でやりたいてきた瞬間でした。自分でやれた時に大人がしっかりそばにいて優しいまなざしと一言で子どもたちが次に進めます。2月の幼児の懇談会ではそんな営みを紹介しながらクラスの様子をお知らせします。ぜひご参加下さい。

おねがい

- ・お子さまの体調不良などで緊急連絡をすることがあります。お仕事がお休みの場合は必ずお知らせ下さい。緊急連絡先の変更があるご家庭は速やかにお知らせ下さい。

おしらせ

2月の予定

- ・ 6日（木）おもちつき
- ・ 14日（金）2025年度 入園説明会（午前）
- ・ 18日（火）誕生会
- ・ 19日（水）全園児お弁当日
幼児クラス遠足
- ・ 21日（金）月例健診
- ・ 25日（火）だいちぐみ園外保育
- ・ 26日（水）地域の保育園との交流会（だいち）
- ・ 27日（木）浜脇小学校との交流会（だいち）
白鹿博物館・ミュージアム見学（ひかり）

だいちぐみの保護者の方のみ、酒蔵見学（2名）に参加できます

詳細は後日お知らせします

- ・ 絵画 7・17日（金・月）
- ・ 体操13・20日（木）

幼児クラス懇談会

- ・ 2月 7日（金）ひかり組：17:30～18:30
- ・ 25日（火）いぶき組：17:30～18:30
- ・ 26日（水）だいち組：17:30～18:30

3月の予定

- ・ 8日（土）卒園式
* 在園児は家庭保育にご協力お願いします
- ・ 14日（金）全園児お弁当日、お別れ遠足
- ・ 29日（土）新年度準備、職員会議
* 今年度の整理・及び次年度の準備となります。
家庭保育のご協力をお願いします

4月の予定

- ・ 1日（火）入園式、始業式

先生のメッセージ

先日のかえでフェスティバルではつぼみぐみからだいちぐみまでの行事でした。全員の参加ができたことが何より嬉しく思いました。歌やダンス、合奏に劇遊びと普段の子どもの思いや言葉を子どもと共に表現したものをみなさまに観て頂きました。当日は2部制にしたので混雑することはなかったように思いましたが、保護者の方の思いやご意見があれば、ぜひアンケートでお知らせください。

保護者の方がお子さまを愛おしく見守る姿と時間を共に過ごせたことに感謝します。登園時には、普段は自転車の方も歩いて来て下さいました。そんな中、外の見守りをしている時、遠くに親子3人で手をつなぎ、園に向かってくる姿が見えた時、「どんな会話をしているのかな？」と思えるくらい優しく微笑みながら歩いて来られる姿に、朝からほっこりした気持ちになりました。会の終了後には、保護者の方が「今朝、わが子が折り紙で時計を作ってくれました」と腕をまくりかわいい時計を見せて下さいました。子どもたちが舞台に出るとき付けていた同じ時計でした。親にとって子どもからのすてきなプレゼントは何よりの宝物になりますね。1月はあっという間に、2月は時間が逃げて行かないよう、毎日を大切にゆったりとした気持ちで過ごしていきたいと思えます。 主幹保育教諭 F

1月末、つぼみ・幼児クラスのかえでフェスティバルを行いました。日頃から子どもたちが楽しんでいる様々な表現をどのような形で届けようかと、子どもたちと一緒に内容を考えました。“表現”という言葉にすると堅苦しいですが、嬉しい時に笑ったり、悲しい時は泣いたり、心地わるい時には顔をしかめたり…めばえさんやふたばさんの時期に大切に育ててきた沢山の“きもち”を、これからものびのびと表現して欲しいと思えます。大勢の保護者の方々が見てくださっている中どきどきしていた子どもたちでしたが、おうちの方の姿を見つけると、ほっとした表情を見せていました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

さて、また気温が下がり身体がぐっと冷え込むようになりましたが、皆さんは思い出すと心がぽかぽかと温まることはありますか？子どもたちがかえで保育園で過ごす中にも、“ぽかぽか”が沢山あってほしい、そう願いながら一緒に過ごしています。3月に卒園を控えただいちさん、美味しそうにご飯を頬張る姿を見て、毎日のお昼ごはんや手作りおやつをあと何回食べられるだろう…？と、ふと思いました。「これ、きれい…」となかなか食べてくれずあの手この手を試していた毎日、「おいしくしてくださーい」と育てた野菜を嬉しそうにご飯の部屋へ運んでいたことも、苦手なものを一口食べて美味しさに気付いた日のことも、大切な大切な思い出です。かえで保育園のごはんやおやつが、大きくなった時にふと思い出して心を温めてくれる、“ぽかぽか”になってくれると嬉しいです。だいちさんのリクエストメニュー、2月もたっぷり楽しんで欲しいと思えます。 主幹保育教諭 K

メッセージ

困ったこと、わからないことがあると、ついつい携帯を片手に調べてしまいます。調べていく内に、気付けばインターネットの中にある情報が正解のように錯覚しそうなことがあります。そんな私ですが、先日友人と海外旅行に出かけました。飛行機を降りて、1歩でると、分からないことだらけの世界。「これはどうするの?」「この後、どうするんだっけ?」と気付けば携帯とにらめっこしていました。

そんな私たちに、沢山の優しい人々が声を掛けてくれました。携帯で、何度も検索を繰り返すより、あたたかい人に触れ、関わることで、気付けたことが沢山ありました。事前に計画することも勿論大切ですが、それよりもその時間を楽しむ気持ちや、助けを求めたり、現地の人との関わりを楽しむことの方が、ずっと大切であったことに気づかされました。

下を向いて、携帯を見ている、画面上の世界しかありませんが、顔を上げると、目の前にもっと素敵な世界が広がっているのかもしれない…と考えたとき、ふと昔の記憶がよみがえりました。19歳の頃、バスに乗り間違え、ホームステイ先である家への帰り道が分からなくなり、泣きそうになっている私に、運転手の方が「君は今日でこの街中を観光できたね!ようこそ」と笑顔で話してくれた、あの時なぜか心に残った思い出の意味に気付けた気がしました。これからも保育の中で、子どもたちと“今”を楽しむ気持ちを大切に過ごしていきたいです。

K先生

保護者からのエピソード

通い始めの頃は泣いてばかりで、今後泣かずに通えるようになるのかと心配していましたが、最近は園内に入った途端、私のことをほったらかして一目散にクラスに歩いていってしまいます。バイバイができない寂しさはありますが、保育園が楽しい場所になったんだなという嬉しさもあります。これからの成長がとても楽しみです。

めばえ組 ひろよしさん

絶賛質問期の息子。なんでも「なんで?」と聞かれ、ひとつずつ答えることを心掛けていますが、私自身も「え、なんでやろ」とか「そういうもんやんか」と改めて聞かれるとちゃんと答えられないこともあります…。

いろいろなことに興味をもって、自分の好きなことや得意なことを見つけてくれたらいいと思います。

つぼみ組 なつみさん

娘は毎日、家で作ったものやお気に入りのものを持って登園します。それを先生やお友だちに見せて「いいね!」と言ってもらえるのが嬉しいようで、笑顔で保育園に行けるお守りになっています。いつもありがとうございます。みんなの反応を楽しみに、今日も絵を描いたり工作したりと造作活動に余念がありません。

いぶき組 ゆうほさん

おうちではお野菜のはいったごはんは食べなかったりお野菜だけよけて食べているけれど、お迎えの時に先生から教えてもらう給食の様子はおうちとは違って色んなお野菜に挑戦して食べているとのことで驚きです。おうちでもお野菜を食べてほしいので母は給食のレシピが知りたいくらいです。

ふたば組 りささん

入園して9ヵ月が経ちました。保育園行きたーい!と毎日楽しそうです。帰り道に、今日は何が1番楽しかったか、何を食べたかなど話すのが日課で、お話を聞くのが私も楽しみです。保育園で教えてもらった季節の歌をいつも家でも歌っています。♪

いぶき組 みずきさん

最近、目が合うとニッコリ笑うようになりました。どうやら笑顔を見せることで相手の怒りを慎められるんだと、経験から学んだようなのです。にしても、大人と目が合うたびに笑顔をふりまく息子の将来が心配でもあります。こするい生き方をするな!と注意しようと面向かうと、またニッコリされガス抜きされてしまう…。親に問題があるのかもしれませんが笑

ひかり組 ひろしさん

2歳になって何をするにも「じぶんで!」といい、手伝うとお怒りの様子。一方で、お手上げの時は「できなかった〜」と報告してくれます。自分でやってみて難しい時はヘルプを頼む。先生やお友達のやりとりをよく見ているなぁと思います。ちなみに兄は、お怒りの弟を変顔で笑わせる係として活躍してくれています!

ふたば・だいち組 なぎささん

1月の子どもたちのようす



今年の干支「巳」をイメージした凧を作りました。丸い紙にクレパスで自由に描き、渦上に切るとへびのような形になります。歩いてみたり、外で風に当たるとくるくる回り、子どもたちは夢中になって見ていました。



保育者や友だちと追いかっこをしたり、鉄棒にぶら下がったりと身体を動かして過ごしています。最近では友だちと遊ぶことが増え、フラフープで電車ごっこや年上のお姉さんとすべり台を滑るなど、保育者だけではなく、友だちとのやり取りを大切にしたいと思っています。



お正月あそびの“福笑い”をしました。「これはなんだ？」と言いながら、目や鼻、口のパーツを自分なりに考えて思い思いの場所に置いていました。完成すると、嬉しそうに「かんしゃーい！」と保育者や友だちに見せてくれました。目の角度や顔の向きなど一人ひとりの個性溢れる顔が出来上がりました。季節の遊びや伝承遊びをどんどん取り入れていきたいと思っています。



園庭にメジロが遊びにきました。ガラスにぶつかって弱っていたメジロを保育者が抱き上げてお世話をしている所に興味津々で、「ちゅんちゅん」「だいじょうぶかな？」など口ずさみながら真剣な眼差しでじっと見守っていました。少しして元気になり飛び立つと、「とりしゃんばいばい！」「またきてねー！」と、ずっと目で追いかけていました。小さなメジロとの出会いは印象的だったようで、飛び立った後も子ども同士で話している姿が見られました。



先月の上旬はお正月ならではの遊びを楽しみました。室内では目隠しをして友達と「こっちじゃないよ！」と互いに会話のやり取りをしながら福笑いをしたり、園庭やテラスでは凧揚げをして遊びました。又、獅子舞の紙芝居に興味を持ち、獅子舞の真似をしたり、担任手作りの獅子舞に頭を噛んでもらうことを喜んでいました。



先月に秋から育てていたスナップエンドウを収穫して昼食に食べました。塩ゆでしたものをマヨネーズで味付けして食べてみると、普段は豆が苦手な子どもも美味しく食べる姿が見られました。栽培を通してこれからも色々な食材に興味を持って食べることを楽しんでほしいと思います。



～なわとび～

園庭では大縄跳びに挑戦する姿が見られます。お兄さんお姉さんの跳んでいる姿を見て、並んでいる時に一緒に跳んだり数えたりしていました。いざ跳んでみると難しいことに気が付いたり跳ぶことができた喜びを感じたり。「やってみたい」の気持ちで大縄跳びを楽しんでいる子どもたちです。



～ぼんぼんダンス～

かえでフェスティバルでは、サンボマスターの「できっこないをやらなくちゃ」の歌に合わせて、ぼんぼんダンスでだいち組を応援しました。「あきらめないでどんなときも～きみならできるんだどんなことも♪」と全力で歌う子ども達。ポーズや振り付けを考え、表現を楽しんでいます。



～天まで届け～

小さいときから、遊び込んでいた積み木。最近では友だちと協力しながら、ひとつのものを作り上げています。写真にある積み木タワーは、ひかり組の子どもたちで、何日もかけて作り上げました。「てんじょうまでとどきたい！」と何度も挑戦しました。はしごに登りながらも、手が届かなくなったとき、保育者が「だいちさんの背の高いお友だちに手伝ってもらおう？」と提案しましたが、「いい。じぶんたちでしたい。」との即答。みんなで試行錯誤しながらなんと天井まで届き、素敵な積み木タワーが完成しました。



お楽しみ会でプレゼントを包んでいた包装紙を使って、折り紙を折りました。包装紙に描かれている柄や色使いに心を弾ませながら、ハートや刀、猫など素敵な作品を折っています。だいち組のプレゼントで紙風船を折った時の様に、折り方が分からなくなった時には、お友だちに尋ねながら、それぞれが折り紙を楽しんでいました。プレゼントを包んだ後の包装紙、思わず捨ててしまいそうになるものも、子どもたちの世界では大切な宝物になります。古くなれば捨てる、新しいものを買うのではなく、大切に使ったり、新しいあそびを発見したりしながら、育てていきたいです。



1月16日に西宮神社へお参りに行きました。園を出発する前に五円玉をもらい、「ご縁」を落とさないようしっかりと握りしめて、神社へ向かいました。お参りでは「みんなが元気に過ごせますように」「小学校に楽しく行けますように」等それぞれのお願い事をしました。その後、商店街にある安田文具店さんに連絡帳を買いに行きました。自分でノートを選び、現金で支払いをし、お釣りとレシートをもらいました。自分で購入したことが嬉しかったようで、持ち帰ってからも様々な保育者に「これが私のノートだよ」と見せていました。これから就学に向けて、楽しみながら自分で責任をもって持ち物やお知らせを確認したり、文字に関心をもつことができるように連絡ノートを使い始めます。



かえでフェスティバルでは、今までだいち組で歌ってきた「世界がひとつになるまで」を合奏で表現しました。沢山ある楽器の中から自分のしたいものを選び、「ドレミファ隊（音階のある楽器）」と「打楽器隊」に分かれて音を合わせることに挑戦してきました。自分の楽器に集中しすぎてしまうと、周りの音合わせられなかったり、周りの音に耳を傾けすぎると自分のタイミングを見失ったり…みんなで音を合わせる難しさや葛藤しながらも音を奏でる楽しさを味わうことができました。



お台所から

今月の食育活動 1月7日

この日のメニューは「筑前煮・紅白なます・煮豆」を取り入れたおせち料理風のお昼ごはん、おやつでは鶏ミンチとほうれん草やにんじんが入った中華粥を食べました。お粥を苦手に思う子もいますが、鶏ミンチの旨味が入ったことでとても食べやすく、おかわりをしている子もいました。またランチルームには七草を展示したことで、名前を唱えている子や、触ったり匂いを嗅いだりしている子もあり、少しでも七草を身近に感じてもらえたのではと思います。

普段の生活の中ではなかなか見たり触ったりできないような食材を、食育活動として今後もたくさん取り入れていきたいと思っています。そして今年も子どもたちがげんきいっぱい毎日をご飯を食べて、心を込めてごはんを作っていきます。



昨年のクリスマスプレゼントに包んでいた包装紙の模様が面白いと使い道を子どもたちで考えていました。「折り紙に使うといいかも」と使い始めると幼児全体で折り紙ブームが始まりました。手裏剣や紙飛行機と作ってから遊べるものに興味がある子、リボンやネコなどの形に興味がある子と様々です。説明用紙を見ながら折りますが、難しい箇所もあり「どうしたらいいかな」と呟く子もいます。そんな時は「手裏剣は〇〇ちゃんが知ってるよ」「最初の部分は分かるよ」と子どもたちで声をかけ合いながら折り方を調べたり教えたりしています。少し前までは「先生教えて」と来ていた子が、周りにいる友だちに話しかける姿が増えました。子どもたち同士で試行錯誤しながらも挑戦したり、「一緒にできた」を感じる機会をこれからも増やしていきたいです。



ひかり、だいち組で雪遊びへ六甲山スノーパークに行きました。バスの中では、雪に関するクイズや歌を歌いながら過ごしながら「もうすぐ雪見えるかな?」と心待ちにしていました。六甲山に登っていくと街や海の景色から道路に雪が見え「ゆきだ!」「屋根にもあるよ」と歓声をあげていました。そり遊びでは、ひかり、だいちのペアになり「交代で乗ろう」と前後の順番を決めたり「運転よろしくね」とかかとで速さを調整しながら繰り返し楽しんでいました。空から雪が降ってくると「お日様も見られて、雪も降ってラッキーだね」と寒さを感じながらも子どもたちの賑やかな声と笑顔がたくさん見られた雪あそびでした。



また12月のインド編からスタートした「せかいのごはんたべてみよう」では、毎月楽しみしてくれている子が多くいます。インドの挨拶をごはん前に言っている子も多く、興味をもってくれていることがとても嬉しいです。「次は〇〇の国がいい!」「〇〇の国って何食べるんだろう~」と子どもたちとの会話が増えると共に、私たち自身もどんな献立にしようかと考えるのが楽しくなっています。2月、3月はどこの国のごはんが出てくるのかお楽しみに!

~2月の献立・予定している食育活動~

先月に引き続き白鹿の酒粕を使用した「かす汁」を食べます。また2月の行事のひとつである節分には愛情込めて1本1本巻いたキンパを出します。他にも旬の食材であるカリフラワーが入ったお汁や、「かぶのサラダ」も作る予定です。衛生面に気をつけながら、その日に使用する野菜を各クラスの子どもたちに見せて回る食育活動やプチクッキング、だいちさんのお米当番も引き続き継続していきます。

栄養士 H先生 N先生



1月9日

園で収穫の時期を迎えていたレモンを使って「さつまいものレモン煮」を食べました。いつものさつまいもの甘煮とは違って、レモンの酸味が効いてとっても綺麗な色に仕上がりました。レモンの皮は苦いので今回は皮を薄く剥き、さつまいもを煮たお鍋にスライスしたレモンと砂糖を入れれば完成です。最初は苦手な子が多いかなと思っていましたが、いざお昼ごはん食べている様子を見ていると、みんなパクパクと食べてくれました。

2月のあそびへの思い

めばえ

12月の終わりに作っていたしめ飾りを、1月の始めに各部屋の入口に飾りました。今年1年みんなで楽しく過ごしたいと思います。1月になりグッと寒くなりましたが、走ったり体操をしたり元気いっぱい身体を動かして遊んでいます。

最近では思っていることを伝えようとする姿が見られ「うん!」「いや」といった返事や簡単な言葉もどんどん増えています。子どもたちも言葉のやり取りが楽しいようで、遊びの中で積極的に友だちや保育者に話しかけてくれます。まだまだはっきりとは聞き取れないこともありますが、きらきらした目で必死に伝えようとしてくれる様子に微笑ましさと、成長を感じます。保育者も一人ひとりと向き合い言葉で伝えることを大切にしていきたいと改めて思います。お家でもこんな言葉覚えたよ、こんなやりとりを楽しんでいるよといったエピソードがありましたら是非教えて下さい。

ふたば

2025年が始まり、早くも1か月が経ちました。ふたば組で過ごすのもあと2ヶ月だと思うと、この1年間があっという間に過ぎたように感じます。4月からふたば組で過ごし、子どもたちの色々な“できた!”を毎日身近に見てきました。上着を着たり、トイレに座ったり、お昼寝をしたり、、、生活の中の様々な場面で最初は「てつだって」だったのが、今では「じぶんで!!」と職員の手を振りほどいて一生懸命に取り組む姿に、頼もしさを感じています。昨日は難しかったことが、今日はできるように、、、。そんな小さな挑戦の繰り返しの中で子どもたちの成長を見つけると、保護者の方にもできるだけお伝えしたいと思っています。お家の中でのクスッとエピソードや小さな「できた!」、困っていること、どんな小さなことでも是非教えて下さいね。

つぼみ

年が明けてからあっという間に一ヶ月が過ぎました。ドキドキでいっぱいのフェスティバルを終え、また一つお兄さんお姉さんに近づき、成長を感じることができた素敵な一日となりました。お忙しい中参加いただきありがとうございました。子どもたちもお家の方に歌う姿を見てもらえたことが嬉しかった様子です。つぼみ組での生活もあと数ヶ月になり、身の周りことは自分でできる嬉しさを感じられように保育を進めています。生活のあらゆる場面を見守る中で、苦戦や葛藤をする姿も見られていますが、繰り返し挑戦することで、「自分でできた!」という経験が自信に繋がっている様子です。これからもそのような子どもの姿を傍で応援し、幼児クラスに送り出せたらと思っています。

いぶき

年始に久しぶりに会う友だちや保育者に「あけましておめでとうございます」と新年の挨拶をすると、休みの日の出来事を友だちや保育者に話して会話を楽しんできました。ままごとコーナーのおせちの写真を見て、「おせちってなんだろう」「どうして食べるんだろう」との声があり、おせちの由来や食べ物の種類に興味をもち始めました。正月の本を見たり話を聞いたりして興味が深まったとことで、「作ってみたい」と目を輝かせ、黒豆やかまぼこに見立てたものを作りままごとで遊びました。「次は伊達巻も作りたいな」と“やってみよう”の気持ちが大きくなっています。最近では「なんで?」「どうして?」「やってみよう」の声が増えてきました。子どもたちが心に芽生えた「なんでだろう」と真っすぐ向き合い興味を深められる機会を大切に、沢山の“やってみよう”に繋がってほしいと思います。

ひかり

肌を刺すような冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、元気に遊んでいる子どもたち。新しい1年の始まりに「あけましておめでとう」と挨拶をしました。すると子どもたちの方から「OOせんせいに、まだ行ってない」「おめでとうっていつてくるね」と笑顔で話しかけにいく真っ直ぐな姿に、あたたかな気持ちになりました。別の日にはAくんの赤白帽子が見つからず困っていると、自然と周りに集まり、一緒に探そうとしていた子どもたち。玩具の片付け方が分からず、困っている様子を見ると、Hちゃんがそっと寄り添いながら、手伝ってくれていました。ひかり組として1年間、共に過ごしていく中で、仲間意識が強まり、友だちの様子をみると、そっと寄り添ってくれているあたたかい関わりが沢山増えました。子どもたちのあたたかな関わりや眼差しを大切にしていきたいです。

だいち

かえでフェスティバルでは、子どもたち自身で考えたストーリーを劇あそびとして表現することを楽しみました。だいち組がみんなで読んでいる「モンスターホテル」のお話と、廃線跡に園外保育に行った実体験とを織り交ぜたオリジナルストーリー、いかがだったでしょうか。エルマーとりゅうもだいち組の仲間として登場させたいという思いもどのように形にしようかと何度も話し合いを重ねました。その中で、自分たちが考えていることを話し合ったり、相手の意見に耳を傾けたりする機会が多くありました。普段の生活や遊びを通して互いに気持ちを伝えあったり、相手の思いを知ることで自分の考えや行動を振り返ることも経験して欲しいです。

はまかせ

かえでフェスティバルでは、各クラスの個性豊かな演目を少し緊張しながらも人前で見てもらう機会となりました。春頃はお世話をしてくれるお兄さん、お姉さんとしての異年齢での関係が、今では困った時に頼れる安心する場所『楽しい』と一緒に感じられるペアの関係へと深まってきました。フェスティバルの練習の様子を各クラスお客さん役として見ていました。いぶきさんからだいちさんへのポンポンダンスの応援やひかりさんのドレミの歌の体操を真似するいぶきさん、だいちさんの合奏の様子をじっと見つめるひかりさんとそれぞれに「楽しい!」の発見があったようです。だいちさんが歌った「てをつなごう」の歌はどのクラスの子も遊びの中でも自然と口ずさむようになっていました。顔を見合わせて歌う姿に心がほっこりしました。異年齢の関わりが楽しくて安心する場所として、遊びや人との繋がりが広がるようこれからも見守っていきます。